

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「地域に密着したGHをめざします」という理念を掲げている。	○	運営理念の委員を作り職員全員で話し合い現在の理念に加え、新しいものを作る準備をしている。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	勉強会などで、意識付けを行い日々の生活の中でできることは何かを話し合っていることから実行している。	○	地域の中で生活をしていくということを忘れないようにしていく。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	玄関には掲示している。御家族にも機会があるたびに話している。地域の人々には理解してもらおうとどこまでいってないと思う。	○	地域に出て行くことを実践しながら、地域の方に知ってもらえることができたと思う。
2. 地域との支えあい				
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	近所に家がなくて近所付き合いができない。	○	GH前の川で釣りをしている人を見かけると、こちらから声かけなどを行っている。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	市民センターのバザーに参加している。夏祭り、螢まつりの見学に行っている。	○	地域の行事にはなるべく参加していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>地域で普通に暮らすことができることを、周囲に知ってもらえるように実践を重ねていく。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>生活歴についてはまだ不十分なので引き続き情報収集を行っていく。人権擁護については、勉強会などで取り上げて意識付けをしていく。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>外部の方からの意見は、職員が日頃気付かないことが多いので参考にしていきたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>サービスの質の向上のために、必要時は市の担当者と連携をとりたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>機会があれば、外部研修に参加し職員全員が必要な知識として習得していきたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>職場で気付かないまま虐待につながるようなことをしていないか考える場として、今後も勉強会で取り上げていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居の契約をするまでに不安や疑問などには極力解消できるように対応している。不安がある時は契約を延ばす</p>	<p>○</p> <p>こちらから声をかけるように心がけている。御家族が不安などを訴えやすい環境を作る。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居の方が不満を表せる機会は特別に設けてないが、職員との日常の会話や介護サービス相談員との関わりの中でつかむようにしている。</p>	<p>○</p> <p>御利用者からの意見、不満は、日常の会話の中に色々含まれていることを意識するようにする。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に近況を報告したり、健康状態については、変化があったときにその都度連絡をしている。</p>	<p>○</p> <p>ご家族に毎月、近況を文書で伝えたいがまだできていない。(検討中)</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関には「ご意見箱」を設置し、行政の苦情受付窓口のポスターを掲示している。家族からの苦情にはその都度対応している。経過はスタッフに文書で通達している。必要があれば運営にも反映させている。</p>	<p>○</p> <p>ご家族んの意見はGH改善の糸口になるので、しっかりとお聴きしたい。また、ご家族が、訴えやすい環境を作っていく。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ある程度の意見や提案はあるが、特別反映はされていない。</p>	<p>○</p> <p>職員の意見に耳を傾け、必要な部分は改善していく。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>外出時やご家族との親睦会など、必要に応じてスタッフの数を確保している。</p>	<p>○</p> <p>御利用者の方の状況に合わせて人数を確保できるように勤務体制は柔軟に考えていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>法人内の異動は実施している。なじみの関係を重んじながら、GHの前進、職員の質の向上を目的にしている。</p>	○	<p>離職にたいしての対策が今後の課題だと思う。GHで自分の持っている資格を十分に発揮できるような職場環境を作る必要があると思う。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p> <p>採用時に資格、年齢、性別の限定はない。資格はここで勤務しながら習得するように声はかけている。</p>	○	<p>各職員の能力の發揮が難しいと思う。十分に發揮できなくて伸び悩んでいる職員が多い。個々の能力が發揮できるような職場環境を作る必要がある。</p>
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p> <p>研修に参加したり、勉強会のテーマにして意識付けを行っている。</p>	○	<p>人権尊重は基本となることなので、今後も機会があるたびにテーマとして取り上げていく。</p>
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> <p>外部研修には1回/月程度順番に参加している。その内容を勉強会で報告し意見交換を行うようにしている。自分の意見を言う場としても勉強会を位置付けている。</p>	○	<p>外部研修は色々な知識や情報を得る場なので、本人の希望を聴きながら研修の参加を促していく。</p>
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> <p>GH協議会に参加している。</p>	○	<p>当地域にはGHが多いので他のGHとの交流ができればいいと思うが、きっかけが見つからない。</p>
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> <p>休暇の希望はなるべく取り入れるようにして、気分転換ができるようにしている。</p>	○	<p>スーパーバイザー的な人物が必要かと思う。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員に勤務態度については認めているが、表現として(言葉として)伝えてないと思う。向上心につながる声かけは難しい。	○	個々の向上心を引き出すような、アドバイスが必要だと思う。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御本人からの情報収集は困難なときが多いので、ご家族(キーパーソン)からも情報収集を行い、御入居後の不安の軽減に努めている。	○	必要時は対応していく。
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前はもちろんだが、入居後はなるべく、声をかけて話を聴くようにして不安の軽減に努めている。	○	今後も同様に対応していく。
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けただけでは、「何が必要なのか」の見極めは難しいが、関係機関を紹介したりこちらでわかることは、情報を提供している。	○	相談に対して応じることができるように、職員が介護保険のサービスの情報を持つように努める。
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居は対応している。以前はご家族が2～3日間毎日見学(1日中)されたこともあった。可能な限りご家族の希望に沿うようにしている。	○	その時に適した方法で対応して納得していただくようにする。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に生活をしながら相手のことを「介護される人」と見るのではなく「一人の生活者」として位置付けるようにしている。	○	今後も「共に生活する」という姿勢を持ち続けたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p> <p>日常生活の近況報告を、面会時に行っている。家族との連携は密に取っている。</p>	○	ご家族が来られた時には、御本人の昔のことなどを聴いて情報を広げていく。
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p> <p>御本人とご家族は良い関係が続いている。3回/年の親睦会も関係作りに役立っていると思う。</p>	○	気軽に話していただけるような環境を職員が作っていく。
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> <p>旧友との年賀状のやり取りの支援、来所された時は、一緒にお酒を飲みながら食事ができるように支援している。</p>	○	ご本人の希望をお聴きしながらできることは対応していきたい。
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p> <p>日中、リビングで過ごす方が多く、何となく交わす会話を楽しんだりして、時間を共有している。御利用者同士の支えあいもできている。(ちょっとした声かけなど)</p>	○	御利用者同士の関係作りはとても難しいが、スタッフが間に入りながら親しい関係を作ることを支援していく。
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> <p>入院で退居されその後亡くなる方がほとんどなので、契約終了後の関係は難しい。</p>	○	必要時は、継続的に関わっていく。
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> <p>御本人の希望や思いや暮らし方を聴いて、なるべく御本人の意向に沿うようにしている。</p>	○	御本人の思いを引き出しながら意向や希望を重視していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> <p>御家族の面会時に聞いたりして生活歴を作成している。</p>	○	入居前にできるだけ情報を集めるようにしている。
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> <p>記録やカンファを行い、情報の交換、把握に努めている。</p>	○	お一人ずつの情報を収集することで生活を心地よくしていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> <p>月に1回ミニカンファを行い入居者の方が安心して暮らしていただけるように努めている。</p>	○	今後もカンファなどを活用し、御本人を尊重した介護計画を作成し実践していく。
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> <p>月に1回のミニカンファ、及び全体のカンファでプランの見直しを行い、現状にあった対応をしている。</p>	○	御本人に変化があった時はなるべく早い段階で計画の見直しをしていくようにする。
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> <p>申し送り、連絡ノート、日々の記録を通して、情報を共有している。</p>	○	個々の記録を計画に沿ったものにしていく。記録の方法を検討したがまだ不十分な部分があるので改善の必要がある。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> <p>GHでできる範囲のことは対応している。</p>	○	併設施設と連携をとりながら対応出来る事を、広げていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>御本人の意向での地域資源との協働はない。GHとして地域の資源は少しずつ活用している。</p>	<p>○</p> <p>御本人からの希望や、必要があれば、地域資源を導入していく。</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>同一法人内の事業所のケアマネからは、福祉用具のことなどの情報交換はしている。</p>	<p>○</p> <p>必要時は他のサービス事業所に連絡をとり支援する。</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターとは、運営推進会議のときに出席してもらい情報交換をする程度。まだ、協働というところまではいっていない。</p>	<p>○</p> <p>必要時は地域包括支援センターを活用していく。</p>
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>経営母体は病院だが、入居することで主治医の変更は必要ないことを説明している。協力病院は24時間対応可能。</p>	<p>○</p> <p>今後もかかりつけ医は、入居後も変更する必要のないことを説明していく。</p>
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>必要時は精神科の協力病院に受診している。</p>	<p>○</p> <p>今後も必要時は受診や相談など専門医のいる協力病院と連携をとっていく。</p>
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護師が常勤でいるため、健康管理を行っている。</p>	<p>○</p> <p>異常の早期発見に努めながら、GHで安心して生活できるように支援していく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>48</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時には、日常の状態を詳しく文書にして渡している。また、口頭でも十分に申し送りを行い、不明な点はいつでも電話で対応できるようにしている。</p>	○	<p>入院することで御本人の生活環境が変わってしまうので、細かい日常の情報を先方に確実に伝えていく。</p>
<p>49</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「看取りの指針」を作り御家族に説明している。その都度、御家族と話し合いをしながら、対応の方法などを決めている。</p>	○	<p>重度化や終末期はお一人ずつ違うので御家族と充分に話し合いながら対応していく。</p>
<p>50</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>一人ずつ、状態も違うし、御家族の思いも違うので、御家族との話し合いを密に行い、「できること」「できないこと」を考えている。</p>	○	<p>ケアカンファを利用し、その都度状況に応じた対応を話し合い、支援していく。</p>
<p>51</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>先方の担当者とはなるべく直接会って、御本人の情報を伝える。それができない時は、電話でおこなっている。退居時サマリーを作成し先方に渡している。(介護方法の写真を付けたりしている)</p>	○	<p>御家族の思いなどもきちんと伝えるようにしていく。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>52</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人の尊厳を重要視しているが時折、反することもあり、カンファなどで指摘している。</p>	○	<p>研修、勉強会を利用しスタッフの質の向上に努めていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	生活の中で、選択ができご自分で決める場面を増やしていく。
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	何よりも御本人の尊厳を第1として、毎日を送って頂けるように支援、援助を行っていくように心掛ける。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	今後も御本人、御家族の希望があれば、継続していく。
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	個々の出来る事を重要視し、支援、援助を行いながら、御本人の負担にならない程度で行っていく。
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	御本人の好みに合った飲み物やおやつなどを準備していく。お酒、タバコは御本人の体調を考慮しながら、支援していく。
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	御本人の排泄パターンを把握することで排泄物の汚染を防ぎ、できるだけ快適な生活ができるように援助していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	御本人の希望に応じて時間の配分を行ってできるだけ希望する時間にゆっくりと入浴できるようにしている。	○	食事や臥床(休息)時間を考慮しながら入浴時間の配分を行っていく。また、入浴が日々の生活の楽しみのある場であるように支援を行っていく。
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	御本人の希望時や体調を把握しながら臥床を促している。	○	就寝時は自室の環境を整え安心して入眠できるように支援していく。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	外出の機会を多く持ち、日々の生活のマンネリ化を解消し出来るだけストレスが少なくなるように支援している。(花見、買物、畑仕事、散歩など)	○	日々の生活がマンネリ化しないように、短時間でも外の空気や日光に当たる時間を取っていく。
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時には御本人のお金を持参し自由に買物が出来るような支援をしている。また、必要時、御本人からお金をお預かりして希望の品物を購入したりしている。	○	ご自分で希望する買物ができるように支援していく。
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日にはできるだけ短時間でも外出し外気や日光に当たることができるように支援している。(散歩や近くのドライブ)	○	なるべく外に出る機会を増やすように支援していく。
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	御本人の生活歴を基に、近くならば散歩のときに行ったりして昔のことを思い出していただいている。	○	日常の会話の中で、行きたい所などをお聴きしながらなるべく行けるように支援をしていく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状のやり取りをしたり、希望される時は電話の援助も行っている。	○	御本人が希望する時は手紙や電話の援助をしていく。
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は特に決めてないため、御家族の方は時間を気にせずに来所されている。また、友人などの訪問もあり御利用者が自室で忘年会を行うこともある。	○	御家族が気兼ねなく気楽に訪問でき御利用者とのんびり過ごせるような環境を作っていきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていないが、スピーチロックによる拘束を知らないうちに使っていると思う。研修や施設内の勉強会で意識付けを行っている。	○	スピーチロックに関しては、スタッフ間で注意できる環境作りが必要。引き続き意識付けを行っている。
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけずにチャイムの音で対応している。居室には鍵はない。	○	今後も日中は玄関に鍵をかけることはない。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守りや所在確認などにより、安全の確保に努めている。	○	安全を最優先に考えると共に、行動制限にならないようにしていきたい。
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤類は見えない所に保管している。爪きり、はさみは目の付く場所に置いている。使用する時はスタッフが側につく。	○	整理整頓しすぎる環境作りをしないようにしていく。色々な物から、昔を思い出せるような環境ができればいいと思う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> <p>御利用者一人、一人に合った事故防止策をケアプランに組み込んでいる。</p>	○	<p>状況、状態に応じた事故防止策は、職員間で共有できるように連絡ノートを活用していく。</p>
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> <p>マニュアルはあるが、定期的な訓練はできていない。</p>	○	<p>定期的な訓練をしていく。</p>
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> <p>定期的に避難訓練を行っており、御利用者にも参加して頂いている。地域の消防団との連携もとっている。</p>	○	<p>定期的な避難訓練を続けていく。</p>
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>御家族には、その都度必要なリスクについての説明は行っている。またその時に御家族の希望をお聴きしながら、対応策を考えている。</p>	○	<p>御家族の思いと現状の違いを解って頂くようにリスクについてはその都度、御家族に説明を行っていく。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>1回/wのバイタル測定、入浴前の検温などで異常の早期発見に努めている。異常があれば受診し、業務日誌や申し送り等で情報を共有している。</p>	○	<p>協力病院が24時間対応なので、早めの対応に努めている。</p>
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>個人記録に内服薬を記入している。特に注意が必要な薬は連絡ノートでその都度知らせている。</p>	○	<p>誤薬のないように、情報の共有に努める。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維が多く含まれる食材を使ったり、こまめに水分補給に努めている。	○	一人ひとりの排便チェックを行い、便秘による不快感の軽減に努める。
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯ブラシ、歯間ブラシ、フッ素塗布など、歯科医に相談しながら一人ひとりに合った口腔ケアを毎食後実施。義歯は2回/w洗浄剤を使い清潔の保持に努めている。	○	個別的な口腔ケアをしていく。
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お茶だけでなく、コーヒー、紅茶、ジュース、冬季には生姜湯や葛湯などおいしく水分補給をしていただけるように工夫をしている。食事量は各自に合わせて準備している。(刻み食、練り食など)	○	食欲がない時や食事摂取量が少ない時は、バナナやプリンなど御本人が好物、食べやすいもので補食していく。
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルがある。手洗いを徹底している。	○	流行時には、その都度資料を配布し予防に努める。
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1回/w、冷蔵庫の清掃、食材の期限確認をおこなっている。また、食器乾燥機の使用、塩素系洗剤での除菌も行っている。	○	買い置きはなるべくせずに、信頼できる店で新鮮な物を購入する。また、台所や調理器具の衛生管理に努める。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲に花を植えている。地域の方の知名度はまだ低く、親しみをもってもらうにはまだ時間がかかる。	○	近所の方が親しみやすい環境作りを考える。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	季節感や生活感を出すためには、いつも職員が気に留めていないとできないと思う。そのための支援を考えていく。
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	○	気のあった御利用者同士の関係作りや関係の維持を支援していく。
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	御本人とご家族がくつろげる空間を作るようにしていく。
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	○	「暑い」「寒い」を少し感じるくらいの環境作りも必要だと思う。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	御利用者の安全確保のために建物各部分の検討が必要になってきた。
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	お一人お一人の認知症の状態、身体の状態をよりいっそう把握するように努める。
89	<p>○建物の外周や空間の活用</p> <p>建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	プランターの花を増やしたりしながら、外に行くことが楽しみになるようにしたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
		○	④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)